



「レストハウス」営業中

「レストハウス」は営業時間 10 時～17 時で毎日オープンしています。

コーヒー、ソフトクリーム、肉まん、ポテトフライなどのスナック類やピラフなどの軽食をご用意して皆様のご利用をお待ちしております。

ゼフィルスの魅力

先月号のオオルリ・コルリに続き、今月も旭山で見られる「青いもの」、ゼフィルス、蝶がテーマです。
昆虫好きを魅了するゼフィルス、でも、実は意外と身近な存在なのです。

●ゼフィルスとは

光を受けて青や緑に輝くゼフィルス、かつてはシジミチョウ科のミドリシジミの仲間がゼフィルス族と呼ばれていましたが、分類方法が変わって細分化された現在、一般にはミドリシジミ類とそれに近い仲間の総称がゼフィルスです。

ギリシア神話の西風の神様「ゼビュロス」のラテン語 ゼフィルス Zephyrus が語源、英語ではゼファー zephyr と表記されます。

●旭山では現在9種

日本では 25 種、うち北海道で 20 種、さらに旭山で 10 種(下掲)が確認されていますが、識別が難しい種もあり、今後旭山での確認種数は増えると思われます(右写真も一部種未同定です)。

- ・ムモンアカシジミ ・アカシジミ ・オナガシジミ
- ・ミズイロオナガシジミ ・ウスイロオナガシジミ
- ・ミドリシジミ ・メスアカミドリシジミ ・オオミドリシジミ
- ・エゾミドリシジミ ・ジョウザンミドリシジミ



オオミドリシジミ

ほとんどの種がブナ科のミズナラを食べて育つのが特徴です。

●青くないものもあるし、青いけどゼフィルスではないものもある

「青いもの」と書きましたが、ゼフィルスは必ずしも青系の種ばかりではなく、橙色のアカシジミ、裏が基石模様で表は茶褐色のオナガシジミなどもあります。

アカシジミ類以外の雌は茶褐色や黒褐色といった地味な色合いをしています。

逆に、よく見られるルリシジミ類やトラフシジミのように、青くてもゼフィルスとは呼ばれないものもあります。

●人に近い蝶

ゼフィルスは決して人里離れた大自然にいる近寄りがない蝶ではありません。

むしろ逆、いわゆる「里山」、人手が入った自然環境に生息する身近な蝶です。

旭山記念公園はまさに「里山的環境」、だからゼフィルスもよく見られます。

人と自然の関わりを見てゆく上で、ゼフィルスは重要な生物といえるでしょう。

●ゼフィルスは夏が旬！

ゼフィルスは 6 月下旬から発生する夏の蝶、旭山でも 7、8 月によく見られます。

よくいるのは第 2 駐車場、森の家周辺、つり橋付近、都市環境林の広場など。

翅を閉じてとまる種が多く雄のきれいな表の翅をじっくりと見る機会はなかなかないですが、でも種によって時にはゆっくりと翅を広げることがあり、待っていれば観察するチャンスが訪れます。

マニアのものと思っていた蝶ゼフィルス、この夏は一步近づいてみませんか！



ジョウザンミドリシジミ



メスアカミドリシジミ



アカシジミ



オナガシジミ

「カルチャーナイト」今年もやります 7月21日(金)

札幌市内の文化施設や企業等を夜に開放する「カルチャーナイト」、7/22(金)、旭山は今年も参加します。
今年も「ウッドカトラリーとウッドクラフト」を予定、詳細後日 HP や掲示板で発表します！

シマエナガ幼鳥と2017年6月から7月の旭山野鳥情報

2017年6月に観察された鳥たちの特徴的な行動を紹介します。

★クマゲラ巣立ち幼鳥:6月中旬から森の家の前にクマゲラ巣立ち幼鳥が現れるようになりました。単独で来る時と雄の親鳥と一緒に来る時があり、後者の場合は親が幼鳥に給餌していることもあります。

★亜種シマエナガ巣立ち幼鳥:6月12日夕方、森の家の前で巣立ち幼鳥が見られました。「ツーーツツツツ」という声が辺りに鳴り響き、樹木伝いに西から東に群れが移動していましたが、黒い眉線が入った幼鳥の姿も何羽か確認できました。

その後は1羽もしくは3羽ほどで何度か見かける程度になりました。

★ホオジロ巣立ち幼鳥:先月は巣作りの様子をお伝えしましたが、展望台の法面に巣を造り、雛に餌を与える様子が観察されました。雛は6月20日頃に巣立ち、今の時期は幼鳥2羽の親子4羽で動いています。夏以降は園内西側エリアでも幼鳥連れのホオジロが見られます。

★アオバト:6月11、12日には森の家の近くの桜に30分に1回は来ていましたが、それ以降はほとんど訪れなくなりました。鳴き声は園内で割とよく聞かれますが高い位置です。

★キビタキ:森の家付近でよく囀りをしており時々近くで姿を見ることができます。

★オオルリ:藻岩山登山道入口付近とつり橋付近で時々囀りをしています。

★クロツグミ:6月下旬から朝と夕方に囀りがよく聞かれるようになりました。

★ヤブサメ:6月中旬には笹の脇で姿が見られる機会が増えましたが下旬に落ち着きました。

★センダイムシクイ:6月下旬に「チロチロチロ」と変わった鳴き声がよく聞かれました。

★ハクセキレイ:今年は展望台周辺から噴水広場にかけてで見る機会が例年より多いです。

★オオアカゲラ:6月中旬に森の家付近で見られ近くで営巣したようですが幼鳥は未確認です。

★アカゲラ:巣立ち幼鳥が出てきました。★ヤマゲラ:森の家付近で時々見られます。

◎その他囀りがまだ聞かれる鳥:●カワラヒワ●アオジ●メジロ●ヒガラ●●コルリ(頻度減)

※7月はカラ類幼鳥連れの群れが集まる「鳥のようちえん」が見られます。



↑写真上からすべて
クマゲラ
シマエナガ
巣立ち幼鳥
ホオジロ

「フラーソン2017」結果報告

2017年6月17日(土)、18日(日)の2日間全道で一斉に行われた「フラーソン2017」、旭山チームも参加しました。

旭山記念公園と札幌市旭山都市環境林で開花していた花は59種を記録しました。

内訳は以下の通り(五十音順)ですが、注目は※印をつけた外来種が25種、全体の4割以上を占めたことです。

外来種を細かく見ると公園は49種中24種ほぼ5割、都市環境林は33種中14種と、やはり都市環境林はより自然に近い状態であることが分かります(都市環境林でのみ出た植物には自生種外来種とも※印をつけてあります)。

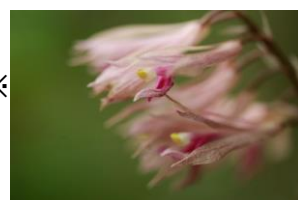
大人から子どもまで花をとことん追いかけた2日間はお天気にも恵まれ楽しい時間を過ごすことができました。

「フラーソン2017」全道の結果はホームページでご覧になれます、検索の上ご参照ください。

- 1.イシカリキイチゴ※ 2.エゾアカバナ 3.エゾタチカタバミ 4.エゾノギギシ※ 5.エゾヘビイチゴ※
- 6.エゾムラサキ 7.オオダイコンソウ 8.オオバタネツケバナ※ 9.オオハナウド 10.オククルマムグラ
- 11.オドリコソウ※ 12.オニタビラコ 13.カタバミ 14.キバナコウリンタンポポ※ 15.クゲヌマラン
- 16.クサノオウ 17.クルマバツクバネソウ※ 18.コウリンタンポポ※ 19.コケイラン※
- 20.コメツブウマゴヤシ※ 21.コメツブツメクサ※ 22.コンロンソウ 23.サイハイラン※
- 24.シロツメクサ※ 25.セイヨウタンポポ 26.タチイヌノフグリ※ 27.チシマアザミ 28.ツクバネソウ※
- 29.ツタウルシ 30.ツルアジサイ 31.ナズナ 32.ニシキギ 33.ノハラツメクサ 34.ノハラムラサキ※
- 35.ノミノツヅリ 36.ノムラサキ※ 37.ハリエンジュ(ニセアカシア)※ 38.ハルザキヤマガラシ※
- 39.ハルジオン※ 40.ヒトフサニワゼキショウ※ 41.ヒナギク※ 42.ヒメジョオン※ 43.ヒメスイバ※
- 44.ヒメヘビイチゴ 45.ブタナ※ 46.フタリシズカ※ 47.フランスギク※ 48.ベニバナイチヤクソウ
- 49.ヘビイチゴ 50.ヘラオオバコ※ 51.ホオノキ 52.マムシグサ 53.ミゾホオズキ 54.ミツバツチグサ
- 55.ミミナグサ 56.ムラサキツメクサ※ 57.ヤマブドウ 58.ルピナス※ 59.ワスレナグサ※



↑フタリシズカ
↓サイハイラン



編集後記

ことしもクワガタ探しの季節がやってきました。

クワガタの集まる木

旭山では雄のミヤマクワガタはレア、あまり捕まえられません。

しかし、腹部を鳥に食べられた跡(死体)は割とよく目にします。

実は結構いて、人には見えないけれど鳥には見えているのですね。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第44号 2017(平成29)年7月7日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>